

県仏通信

第23号

新潟県仏教会会報
令和2年7月20日発行
発行人・編集人
会 長 寺崎敬道
事務局長 山口智史
事務局〒957-0055
新潟市諫訪町2-4-17 宝光寺
TEL 0254-22-4376
FAX 0254-20-7943
postmaster@hokoji.net

ご挨拶

新潟県仏教会会長

寺崎 敬道

各位にはご清祥にて、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策に腐心されておられることと推察いたします。

この2月下旬・3月上旬頃から、さまざまの会合が中止あるいは延期されて参りました。4月9日に予定していた県仏の理事会も中止し、監査会のみ実施した上で、書面決議という形をとりました。その結果、令和元年度の事業・決算、令和2年度の事業計画・予算案はすべて承認されました。改めて御礼申し上げます。本通信の7頁に掲載いたしましたので、ご参照ください。現在、首都圏ではCOVID-19の感染拡大が再び息を吹き返しております。しかし、幸いなことに新潟県では今月に入ってからの新たな感染者は2人で、東京に遊びにいつて感染したと

このことです。私的には各種対策をおこないながら寺院の活動もできる限り平常どおりにおこなってまいりたいと考えております。ところで、このできごとから私ども仏教者は何を学び、いかに行動していくべきでしょうか。私的には「如実知見」、「自灯明法灯明」、「犀の角のようにただ独り歩め」という三つの教えを特に意識し踏まえて、行動していきたいと思っております。

新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)に関してはまだまだわからないことが少なくないのはご存じのこととおりのですが、コロナウイルスの一種であることに間違いはあります。これまでに知られているコロナウイルスは6種類あります。いわゆる力ぜの症状を引き起こすコロナウイルスが4種類、SARS(重症急性呼吸器症候群)、MERS(中東呼吸器症候群)の6種類です。基本的には年に何度かかかる力ぜの症状を引き起こすウイルスと同種類のものです。感染の仕方や予防策など、共通です。信頼できる基本的な情報は厚生労働省のウェブサイトの「新型コロナウイルス感染症について」のページ https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsite/bunya/0000164708_00001.html などから得ることができまますので、そちらを参照くださるのが一番と思います。

東京都区内のお寺の住職をしている友人から寺報が届きました。「火葬場で通常よりひと回り大きく、白い布で包まれさらにバンドで縛られ、フォークリフトで運ばれていた棺を目撃したことが書いてありました。その棺の主は、新型コロナウイルス感染症で亡くなった方であり、棺は屋外に留め置かれ、その日の最後に火葬されてご遺族のもとに届けられるようです。」

ところで、右で紹介した厚生労働省の頁には、COVID-19による死亡者およびその疑いのある遺体の搬送作業や火葬作業に従事する者が留意すべき事項についての記事もあります。それによれば、遺体を非透過性納体袋に収容・密封して搬送および火葬にふすことが望ましいとされ、また、遺体が非透過性納体袋に収容・密封されたければ、特別の感染防止策は不要で、遺体の搬送を遺族等が行うことも差し支えないとされています。これによれば上述の火葬場での対応は明らかに行き過ぎであり、いたずらにCOVID-19に対する恐怖心をあおることになるでしょう。問題は業者でさえ、このような対応をしてしまうのですから、生活者としての私どもにはなお一層正確な情報と深慮が必要であるということです。

自分自身が感染しないために、他人に感染させないために、また感染者やそのご家族・知人に対する根拠のない誹謗中傷、さらには医療従事者・スーパードラッグ店員さんなどに対するハラズメントをしない・させないための根本的な基準が「如実知見」だと思っております。

また、他人に判断をゆだねず自分で考えるということも大切であると感じております。NHKが6月19日から3日間おこなった18歳以上を対象にした世論調査によると、「感染症の拡大を防ぐため、政府や自治体が出す法律の改正が必要だ」という問いに対して、「必要だ」と答えた人が62%、「必要ではない」と答えた人は27%だったとのことでした。 <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200623/k10012480041000.html> 私自身、人から命令されるのは好みませうので、当然多くの方々がそう思っていると考えております。自分のことは自分で決められるという自由は何ものにも代えがたい権

Arkbell

伝えたい思い 伝わるご葬儀

ご葬儀はアークベルのセレモニー



ご葬儀は365日24時間対応

アークベルのセレモニー

検索

利であると思います。法律で行動を規制されるなどまっぴら御免です。ところが、この調査結果によれば半分どころか3分の2弱の人が規制することが必要であると考えているというのです。法律のお墨付きを得て、いわゆる「自粛警察」などを正当化したいということでしょうか。

このような「御上意識」が今も日本人に根強いのだと思ふと愕然とすると同時に戦慄すら覚えてしまいます。「御上」の命令にしたがって止や休業要請に結びついてきたのであって、決して自分で考えた末の行動ではなかったのだ、ということです。ノンフィクションライターの窪田順生は、「自分たちのイデオロギーに合わないものを『社会全体にとって害になる』と叩いて排除する」というのは、全体主義に毒された人たちに見られる典型的な症状であるとし、わかりやすい例として、戦前・戦時中の軍部による「娯楽統制」を上げ、それを後押ししたのは「投書階級」という普通の市民だった可能性のあることを指摘しています。彼らの投書がラジオ局の番組編成に影響を与え、当局が検閲を強化し、また愛国心を刺激するコンテンツが読者やリスナーにウケたことからマスコミは自ら進んで戦争を煽り、この「愛国コ

ンテンツ」を連日のように見せられた国民が、戦争に反対する「非国民」を袋叩きにする、という事件を起こすことも珍しくなかったということです。そして、国民は公権力に対して「日本のために秩序を乱す者たちをもっと管理しろ」「もっと厳しく統制しろ」と求め始めていった、というのが日本が全体主義にのめり込んでいったプロセスだった、といったのです。(コロナ禍でわかった、日本人が患う『管理されたい病』の重症度「DIAMOND online」<https://diamond.jp/articles/-/241302>)

「この世で自らを島とし、自らをたよりとして、他人をたよりとせず、法を島とし、法をよりどころとして、他のものをよりどころとせずにあれ。」(中村元訳『ブッダ最後の旅』1980年、岩波書店、63頁)

釈尊の教えをくりかえし学び、実践し、自己を磨き、その磨かれた自己をよりどころとして生きていく、と私的には解釈しております。仏教を学びはじめた頃、自分の考えが相対的・状況的になつていくことに気づきました。舍利弗、目連の二大弟子が、サンジャヤという懷疑論者を見限つて釈尊の弟子になり、ほとんどさとりを開いたことかわかるように、相対論・状況論を乗り越えたところに仏教はあるとは思いますが、世の中に変化で絶対的な

ことがらはあり得ません。無常であり無我であります。その都度その都度考え、実践して行くことが大切であらためて肝に銘じております。

さらに、COVID-19の流行が沈静化しても、ソーシャルディスタンスをたもつ生活は続いていくと思われまふ。楽しみも集団的なものから個別的なものになつていくでしょう。ひとりで過ごす時間が増えるものと思われまふ。一般的には「孤独」はつらくよくないものとされているようですが、ぬときもひとりです。孤独が人間の本来のひとつです。

『スッタニパータ』の第一蛇の章の第三節は「犀の角」と名づけられています。第35経から75経までの41の短い詩から構成されていて、そのほとんどは「犀の角のようになだ独り歩め」ということばで締めくくられています。「求道者は、他の人々からの毀誉褒貶にわずらわされることなく、ただひとりでも、自分の確信にしたがつて、暮らすようにせよ」(中村元訳『ブッダのことば』1984年、岩波書店、253頁)という意味です。

「林の中で、縛られていない鹿が食物を求めて欲するところに赴くように、聡明な人は独立自由をめざして、犀の角のようにただ独り歩め。」(前掲書、18頁、三九)

「仲間の中におれば、休むにも、立つにも、行くにも、

旅するにも、つねにひとに呼びかけられる。他人に従属しない独立自由をめざして、犀の角のようにただ独り歩め。」(前掲書、18頁、四〇)

「集会を楽しむ人には、暫時の解脱に至るべきことわりもない。太陽の未裔(ブッダ)のことばをこころがけて、犀の角のようにただ独り歩め。」(前掲書、20頁、五四)

「世の中の遊戯や娯楽や快楽に、満足を感じることなく、心ひかれることなく、身の装飾を離れて、真実を語り、犀の角のようにただ独り歩め。」(前掲書、20頁、五九)

「以前に経験した楽しみと苦しみとを擲ち、また快さと憂いとを擲つて、清らかな平静と安らいつてを得て、犀の角のようにただ独り歩め。」(前掲書、21頁、六七)

「慈しみと平静とあわれみと解脱と喜びを時に応じて修め、世間すべてに背くことなく、犀の角のようにただ独り歩め。」(前掲書、22頁、七三)

「犀の角のように、独立自由と平静・安らいつてを喜び・楽しみ、他人に対する慈しみ・あわれみを忘れず、世間に背かず生きていく、というのが新しい生き方の標準になるよう自分自身つとめて参りたいと思つております。

時節柄、くれぐれもご自愛ください。

仏教界随一の団参専門機関



新潟ビーエス観光

〒940-0041 新潟県長岡市学校町3丁目12-4

TEL 0258(34)4848 FAX 0258(34)0227

ホームページ <http://niigata.bs-group.jp/>

E-mail niigata.b.s@jeans.ocn.ne.jp

- ◆ 越後三十三観音霊場巡拝の旅
- ◆ インド仏跡巡拝の旅
- ◆ スリランカの旅
- ◆ 四国八十八ヶ所霊場巡拝の旅
- ◆ 西国三十三観音霊場巡拝の旅
- ◆ 坂東三十三観音霊場巡拝の旅

新潟市仏教会の紹介

新潟市仏教会事務局長

眞谷 誠祐

二〇〇七(平成十九)年四月一日より新潟市は、旧新潟市、黒埼町、新津市、白根市、豊栄市、小須戸町、横越町、亀田町、岩室村、西川町、味方村、潟東村、月潟村、中之口村、巻町の計十五市町村が合併して、本州日本海側唯一の政令指定都市となりました。

政令指定都市は、都道府県と同等の権限をもっています。特に墓地に関しては、設置の許可、整備改善命令など、強力な権限をもつこととなります。

中核市も同じ権限をもっています。平成十二年に定めた「新潟市墓地、埋葬等に関する条例」を、政令指定都市となった後の平成二十二年に改訂し、仏教寺院による墓地の設置がより一層厳しく規制されています。

このような状況から、新潟市全体の仏教寺院が一体となって、行政などに対応

していくことが求められ、平成二十五年に、現在の新潟市仏教会が発足しました。

ただ、旧市町村毎の寺院の組織化にはかなりの差があったため、市内の寺院三百六十八ヶ寺中で、加盟している寺院は二百八十六ヶ寺にとどまっています。加盟率は七十八%ほどです。

新潟市仏教会としては、毎年総会を開催し、その場

で勉強会を行っています。

平成二十五年の勉強会では、墓地の担当である新潟市保健所の環境衛生課長を講師に「寺院墓地の拡張・新設について」の学びの場を設け、その後も平成二十七年に、公益社団法人全日本墓園協会の主任研究員を講師に「埋葬等に関する法律などについて」学ばせていただきました。



総会では閑散

としていた会場が、勉強会では席が不足しかねないほどの状況となっており、市内寺院の皆様の関心の高さを感じております。

そのほか「地方寺院の生きる道」について、「カルト宗教に対応する仏教の役割」についてなど、様々な分野に関する学びも致しております。

新潟市仏教会のもう一つの大きな行事は「市民

のための仏教講座」の開催です。旧新潟市の仏教会からの行事を引き継いだもので、隔年で開催しております。

これまで十一回の開催があり、講師には五木寛之氏、新井満氏、玄侑宗久氏、宮崎哲弥氏などをお招きしております。

中でも忘れがたいのは、新潟市出身の作家 火坂雅志氏が、第九回「市民のための仏教講座」の講師を務めくださった後に、急死されたことでした。この講演がご本人の講演としては最後になったということで、本当に残念なことでした。

前回は笑い飯哲夫氏を講師にお招きし、「笑い飯哲夫のおもしろ仏教講座」として開催しました。県民会館大ホールを埋めた多くの皆様が大笑いしながら仏教に親しんでくださり、有り難いことでした。

今年度は第十二回を開催する予定ですが、新型コロナウイルスの影響が心配なところですので、もし無事に開催できましたら、新潟市民以外でも大歓迎ですので、ぜひ会場に足をお運び下さい。

社寺、一般屋根工事請負



有限会社

いらか

業 工 薨

〒959-2221 新潟県阿賀野市保田6099
TEL (0250) 68-7100 FAX (0250) 68-7111

瓦の美しさを出せる
工事店です。

本掛け、本瓦、棧瓦葺き、
棟は京風、奈風、
ご要望に応じます。

中魚沼郡十日町市仏教会

会長 松崎 真雄

「ご挨拶させて頂きます」
中魚沼郡十日町市仏教会
の紹介をいたします。

新潟県の南部、信濃川が
新潟県を流れ始める地域が
中魚沼郡です。大河を少し
ばかり下ると十日町市です。
雪の多い地域です。その昔
には「妻有の地」と呼ばれ
ていました。

自慢の農産物には魚沼コ
シヒカリ、雪下ニンジン、
アスパラ、スイートコーン
等、さらに酒蔵も多数あり
ます。十日町織物を代表に
さまざまの産業は、一年の
半分ほどを雪と共に生きて
きた先人たちの足跡と感じ
ます。

平成20年後に始まった「大
地の芸術祭越後妻有アート
トリエンナーレ」は、ア
ートと地域の融合を目指し、
3年に一度の大規模な催し
と共に年間を通して常設の
アート及び作家や地域のボ
ランティアと触れ合える企
画もされています。いつも出
でになつても心癒される地
域となります。更には、各
種お祭りをはじめ、特に冬
のお祭りには雪とふれあい
花火やランタン、キャンド

ルを利用した催しもありぜ
ひ皆様にご覧頂きたいもの
です。

さて、「中魚沼郡十日町市
仏教会」でございますが、
名称が長いので私達は「郡
市仏教会」と言っています。

会則を見ますと、昭和44
年9月12日の総会で決議
足した旨が伺えます。現在
43カ寺院が参加しています。

当時の津南町、川西町、中
里村そして十日町市に位置
する寺院の仏教会となつて
います。およそ3分の2を
曹洞宗寺院が占める地域と
なり、会議には偏りの起き
ない様に注意しています。

会の目的には「仏教の恩義
に基づき、教化活動を活発
に展開し、併せて会員相互
の親睦と連携を目的とする」
とうたい、地域の仏教会と
して展開しています。

これまでには「仏教文化
講演会」と称し仏教のみな
らず文化的な講演会にしま
うと、会員各々応分の負担
で講演会を企画してきました。
た、それから「出前法話会」
と称して場所も時間も聴衆
の人数も構わずに法話を届
けるボランティアをしています。

それから地域の遺族会と
協力し「英霊供養祭」を修
めています。各市町村単位
で行われていた行事に加え
て、郡市仏教会として英霊
供養祭をしようと先輩たち

が続けてきました。

更に、80歳を迎える会員
をたたえ「祝寿会」を開催
しています。長年に渡り郡
市仏教会への功績を表彰し
懇親を深めます。

右のように紹介させて頂
きました。地域に根ざした
仏教会でいたいと願ってお
ります。

合掌

東頸地区仏教会について

会長 直峯 照映

旧東頸城郡は平成17年の
広域合併により消滅し、安
塚・浦川原・大島・牧の四
町村が上越市に、松之山・
松代の二町が十日町市にと
行政区が変更になりました。

『東頸仏教会』は右の六町
村と中頸城郡の頸城村一ヶ
寺で組織されておりました。
平成28年『東頸地区仏教
会』に名称を変更並びに会
則を変更し、曹洞宗と真宗
大谷派で会長・副会長を交
互に、任期2年と改正し現
在に至っております。

当地域は長野県境の山間
豪雪地帯に位置する人口減
少著しい地域であります。

旧東頸城六町村の人口は、
昭和30年に5万5千900
人、本年3月末で1万3千

300人。76%の減少であ
ります。

現在当会は、曹洞宗十七、
大谷派二十五、本願寺派四、
真言宗一、単立一、以上四
十八ヶ寺で構成されてあり
ます。

この間、寺院数の減少に
ついては記録が無く、正確
に報告できませんが、私の
覚えでは大谷派で十ヶ寺が
廃寺されており、全体では
二十ヶ寺近くの減少と思わ
れます。

地域社会・寺院の崩壊も
危惧される厳しい現状の中、
宗教心の過疎化があつては
ならないとの願いのもと、
昨年研修会を企画実施致し
ました。大谷派の組教化委
員会に引き続きの研修会に
は、住職・坊守・門徒会役
員各位の参加を頂き、御仏
の教えに預かるもの全てが、
共に学ばせて頂く場に就く、
有難い機会でありました。

続いて行われた総会で、こ
の研修会を継続して行く事、
従来継続されて来た歳末募
金を旧東頸城六地区社会福
祉協議会並びに、海外助け
合い募金に寄託し、地域と
世界の福祉の一助にとの活
動も継続して行く事が確認
されました。

世の中安穏なれ、仏法広
まれ、今はこの地を離れて
おられる方々、そして次世
代の方々と共々願いたいも
のであります。

県内唯一の伝統継承

木地・彫・金具・塗・蒔絵
お仏壇全工程自社製作



福宝

経済産業省公認

石匠位
認定店



本社/新潟市南区根岸 1511 Tel 025-362-1658(代)

■経済産業省公認 石匠位認定店

■1級お墓ディレクター 19名(県内No.1)

■2級お墓ディレクター 128名(県内No.1)

■仏事コーディネーター 102名(県内No.1)

新発田仏教会について 寺崎 敬道

県仏関係の書類には「新発田仏教会」と出て参りますが、会員自身は「新発田市仏教会」と名乗っており

ます。発足した時期は不明ですが、各地の仏教会同様、戦死者の慰霊祭を各宗派合同でおこなったのがはじまりであろうと思います。昨年まで毎年5月3日には、越佐招魂祭が通称西公園内にある越佐戦没者納骨堂の前に張られた仮設の大テントの中でおこなわれていました。この納骨堂は昭和17年に建設がはじめられたものです。新発田は歩兵第十六聯隊が置かれ軍都と呼ばれた町です。明治31年(1898)に建てられた剣の刃の形をした越佐招魂碑も同公園内にあり、すでに日清戦争(1894・95)の戦没者の慰霊祭(招魂祭)がおこなわれていたようです。また、戦没者に対しては町葬もおこなわれ、「各宗僧侶百余名が二日間にあたり読経を重ね」(『新発田市史下巻』)という記事が見られます。

現在の活動はこういった慰霊祭への出仕、花まつり・成道会の開催、また年2回総会をおこない、あわせて懇親の場も設けております。さらに、昨年40数年ぶりに灯籠流しを復活させました。若手僧侶が行事に積極的に関与してくれ、頼もしく感じております。

現在は27か寺が加盟していて、36名の会員で構成されています。将来に向けての課題は、名実ともに「新発田市」仏教会と呼ばれるようになることと考えております。現在の新発田市仏教会の範囲は、昭和18年に発足した新発田町の地域に限られていて、平成の市町村大合併はおろか昭和22年市制施行後の昭和30年の合併の範囲もカバーされておられません。これが県仏では「新発田仏教会」と呼ばれている由縁であると思います。

もちろん、これまで組織化が進まなかった理由はいくつかがあります。まず、必要性を感じられないということがあります。しかし、行政との交渉など問題が出てくることは当然あると考えられますから、それに備えるべきでありましょう。

旧豊浦町や旧紫雲寺町、また郊外に位置する寺院の大部分が曹洞宗寺院であることも理由のひとつかもしれません。けれども、おたがい他宗の方々との交際は貴重



なものになると思います。このほか行事のあり方や会費の問題などがあります。しかし、越えなくてはならないハードルは決して多くはないと感じております。同じ僧侶同士と合し結束していく場を広げ連携していきたいと思っております。



お仏壇・墓石
供養用具・記念碑

鈴木佛壇店

白根本店

新潟市南区白根日の出町 10-8 TEL.025-373-4155

墓石展示場

白根本店真向い

新潟小針店

新潟市西区小針4丁目5-13

TEL.025-233-3135

長岡店

長岡店古正寺3丁目107番地

TEL.0258-29-6400

五泉店

五泉市栗島634-4

TEL.0250-47-3668

仏壇工場

新潟市南区白根日の出町 10-8

TEL.025-373-3636

石材工場

新潟市南区茨倉根 2167-1

TEL.0120-333-721

www.suzukibutsudan.co.jp/

鈴木仏壇店 検索

全日本仏教徒会議 島根大会延期

本年10月2・3日に開催予定の第45回全日本仏教徒会議島根大会が、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、来年10月1・2日に延期されました。当会では、本通信の送付に合わせて参加ツアーをご案内申し上げる予定でおりますので、残念に思っております。

来年、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

寺院用仏具・仏壇・墓石・製造修復販売



株式会社

放光

● 本社・工場 〒940-0825 新潟県長岡市高畑町 617

TEL 0258 (33) 5644 ☎ 0120-174176

● 長岡ギャラリー 0120-505-560

● 新潟店 0800-888-9872

公益財団法人 全日本仏教会 主催

第4回 花まつりデザイン募集

— あなたの作品と共に釈迦さまの誕生日をお祝いしましょう —

全日本仏教会では、来年作成する花まつりポスター・絵はがきの新デザインを募集しております。

ポスター・絵はがきとなる作品は、全国の寺院や地域で行われる花まつり行事や、各教育施設・企業などに頒布されており、応募作品より作成したポスターと絵はがきは、例年10万部を超えて全国に届けられています。

第4回となる今回は仏教行事「花まつり」を題材として、自由な発想で作品を描いていただきたいと思います。みなさんの想う釈迦さまご誕生のお祝いを豊かに表現してみてください。たくさんのご応募をお待ちしております！



■ 募集要項 ■

【応募資格・条件】

プロ・アマチュア問わず、すべての方。

(ただし、作品採用の場合、修正や転用に依られること)

未発表のオリジナル作品で、仏教行事である「花まつり」を題材とした自由な作品。

【作品規定】

素材・画材・技法は自由(デジタルも可)。募集作品サイズは下記を参照。

用 紙: A3 サイズ以上(297mm×420mm 以上)

デジタル: 300dpi 以上(15MB、5000×7000ピクセル 以上)

【賞金】

ポスター大賞…賞金5万円 絵はがき大賞…賞金1万円

【応募締切】

2020年9月30日(水)まで ※当日消印有効

その他、応募方法や詳細は全日本仏教会 web をご確認ください。

<http://www.jbf.ne.jp/activity/2510/3482/3803.html>



◆ 問い合わせ ◆

公益財団法人 全日本仏教会 広報文化部 03-3437-9275

創ることにこだわり続ける廣川だから
お客様と世代を越えて
おつきあいさせていただきます。

◎全宗協加盟・仏壇公正取引協議会々員・仏匠会々員 JA指定

金仏壇製造元 | 御家庭之尊厳 | 寺院用荘厳具・仏具取扱

お仏壇と墓石の 廣川

◆ 本社ショールーム

〒940-2035 長岡市関原町5丁目5番地
☎0258-46-2020(代)

◆ 上越店

☎025-525-6660(代)

◆ 小出店

☎025-792-8424(代)

◆ 墓石展示場

☎0258-47-2010

令和元年度新潟県仏教会事業報告 令和2年5月11日

【1】新潟県仏教会

開催日	事業	会場	参加者	備考
4月2日	新潟県仏教会理事会・総会	新堀アザホテル長江	13名	
7月30日	県仏通信第21号発行	事務局(宝光寺)	若干名	発送会議6月
令和2年3月12日	県仏通信第22号発行	事務局(宝光寺)	若干名	発送会議1月
3月	新潟県仏教会理事会案内状発送			

【3】人権関係

*役員就任(人権・同和センター理事:会長)

開催日	事業	会場	参加者	備考
4月	新潟県人権・同和センター理事会			
5月	新潟県人権・同和センター総会			
6月	新潟県人権・同和センター理事会			
10月	新潟県人権・同和センター理事会			
11月19日	「いのち・愛・人権」燕展		会長	
	越佐人間学校			

【その他】 ☆ホームページの更新(担当:眞谷監事) ☆県仏会員拡大 ☆市町村仏教会の充実 ☆「県仏通信」協賛業者拡充

【2】全日本仏教会

*役員就任(評議委員:会長)

開催日	事業	会場	参加者	備考
9月2日	情報共有会	西本願寺開法会館	会長	
令和2年1月30日	新年懇親会	東京プリンスホテル	会長	

【4】その他

開催日	事業	会場	参加者	備考
4月22日	新潟市仏教会勉強会・懇親会	ホテルイタリア軒		

【5】後援等

開催日	事業名	備考
	2019年度人権・同和教育啓発推進講座越佐にんげん学校	
10月5日	部落解放第36回新潟県研究集会	
11月21日	「いのち・愛・人権」燕展	

令和元年度新潟県仏教会決算書 令和2年5月11日

[収入総額] 1,480,654 円 [支出総額] 1,014,356 円 [差引残高] 466,298 円

【収 入】

(単位:円)

項目	元年度予算額	元年度決算額	前年比較	備考
1 繰越金	277,504	277,504	0	前年度より
2 会費収入	440,000	492,000	52,000	個人会員分、団体会員分
3 寄付金	300,000	291,150	-8,850	個人会員より
4 過年度分収入	0	0	0	未収会費など
5 雑収入	182,496	420,000	237,504	広告協賛会
6 繰入金	0	0	0	特別会計より
合 計	1,200,000	1,480,654	280,654	

【支 出】

(単位:円)

項目	元年度予算額	元年度決算額	前年比較	備考
1 事務通信費	320,000	339,179	19,179	郵送料、文具事務用品等
2 旅 費	200,000	82,830	-117,170	交通費、宿泊費等
3 会議費	80,000	68,000	-12,000	路費、会場費等
4 事業費	200,000	132,843	-67,157	県仏通信印刷費他
5 負担金	310,000	357,170	47,170	全日仏年会費他
6 研修費	10,000	0	-10,000	
7 予備費	80,000	34,334	-45,666	振り込み手数料負担金
合 計	1,200,000	1,014,356	-185,644	

令和2年度新潟県仏教会事業計画 令和2年5月11日

【1】新潟県仏教会

開催日	事業	会場	参加者	備考
4月9日	新潟県仏教会理事会・総会	北辰館		
7月	県仏通信第23号発行	事務局(宝光寺)	若干名	発送会議6月
2月	県仏通信第24号発行	事務局(宝光寺)	若干名	発送会議1月
3月	新潟県仏教会理事会案内状発送			
3月	新潟県仏教会理事会・総会			

【3】人権関係

*役員就任(人権・同和センター理事:会長)

開催日	事業	会場	参加者	備考
4月	新潟県人権・同和センター理事会		会長	
5月	新潟県人権・同和センター総会		会長	
6月	新潟県人権・同和センター理事会		会長	
10月	新潟県人権・同和センター理事会		会長	
11月25日	「いのち・愛・人権」展		会長	
	越佐人間学校		希望者	

【その他】 ☆ホームページの更新(担当:眞谷監事) ☆県仏会員拡大 ☆市町村仏教会の充実 ☆「県仏通信」協賛業者拡充

【2】全日本仏教会

*役員就任(評議委員:前会長)

開催日	事業	会場	参加者	備考
令和2年10月2日	全日本仏教徒会議島根大会	島根県民会館		
令和3年1月	新年懇親会	東京プリンスホテル		

【4】その他

開催日	事業	会場	参加者	備考
4月15日	新潟市仏教会勉強会・懇親会	ホテルイタリア軒	希望者	

【5】後援等

開催日	事業名	備考
	2020年度人権・同和教育啓発推進講座越佐にんげん学校	
	部落解放第36回新潟県研究集会	
11月25日	「いのち・愛・人権」展	

令和2年度新潟県仏教会予算書 令和2年5月11日

[収入総額] 1,290,000円 [支出総額] 1,290,000円 [差引残高] 0円

【収 入】

(単位:円)

項目	元年度予算額	元年度決算額	2年度予算額	前年比較	備考
1 繰越金	277,504	277,504	466,298	188,794	前年度より
2 会費収入	440,000	492,000	420,000	-20,000	個人会員分、団体会員分
3 寄付金	300,000	291,150	280,000	-20,000	個人会員より
4 過年度分収入	0	0	0	0	未収会費など
5 雑収入	182,496	420,000	123,702	-58,794	広告協賛会社、利子
6 繰入金	0	0	0	0	特別会計より
合 計	1,200,000	1,480,654	1,290,000	90,000	

【支 出】

(単位:円)

項目	元年度予算額	元年度決算額	2年度予算額	前年比較	備考
1 事務通信費	320,000	339,179	340,000	20,000	郵送料、文具事務用品等
2 旅 費	200,000	82,830	180,000	-20,000	交通費、宿泊費等
3 会議費	80,000	68,000	80,000	0	路費、会場費等
4 事業費	200,000	132,843	200,000	0	県仏通信印刷費他
5 負担金	310,000	357,170	400,000	90,000	全日仏年会費他
6 研修費	10,000	0	10,000	0	
7 予備費	80,000	34,334	80,000	0	振り込み手数料、災害支援金等
合 計	1,200,000	1,014,356	1,290,000	90,000	

仏壇・墓石・みこし



0120-00-1930

長岡本店(0258)28-1930

長岡中央店(0258)33-1930

TOA トーア

本社／新潟県長岡市寺島817

新潟県芹江店(025)288-1930

上越店(025)522-0139

中之島工場(0258)66-5193

南魚沼店(025)772-8193

令和2年度 新潟県仏教会 役員名簿

No.	役 職	氏 名	寺院名	所 属	郵便番号	住 所	電 話 番 号	備 考
1	会 長	寺崎 敬道	宝光寺	新発田仏教会	957-0055	新発田市諏訪町2丁目4-17	0254-22-4376	
2	副 会 長	五十嵐紀典	大栄寺	新潟市仏教会	950-0205	新潟市江南区沢海3-3-18	025-385-2032	地域会長
3	"	木曾 隆	長永寺	長岡仏教会	940-0075	長岡市渡里町1-2	0258-33-0804	地域会長
4	"	西脇 真成	願宗寺	高田仏教会	949-0153	上越市本町鴨島1丁目8-5	025-524-6496	地域会長
5	"	遠山 正道	本福寺	新発田仏教会	957-0061	新発田市住吉町2-8-32	0254-22-5426	地域会長
6	顧 問	和田 博祐	性宗寺	高田仏教会	943-0892	上越市寺町3-1-14	025-523-6453	
7	理 事	清水 幸栄	通心寺	新潟市仏教会	956-0826	新潟市江南区船戸山3-5-34	025-381-2720	地域副会長
8	"	阿部 正機	観音寺	新潟市仏教会	956-0862	新潟市秋葉区新町2-5-51	0250-22-1384	地域副会長
9	"	廣川 和宏	高念寺	新潟市仏教会	950-1258	新潟市南区吉江617	025-372-2008	地域監事
10	"	浅平 真	浄徳寺	新潟市仏教会	950-0075	新潟市中央区沼垂東4-5-1	025-243-6030	地域顧問
11	"	樺沢 賢正	龍蔵寺	長岡仏教会	940-2134	長岡市親沢町787	0258-46-2454	地域副会長
12	"	松野 秀則	善行寺	長岡仏教会	940-0076	長岡市本町3-1-18	0258-33-0804	地域副会長
13	"	伊藤 良全	長福寺	長岡仏教会	940-0024	長岡市西新町1-6-27	0258-33-5709	地域副会長
14	"	山崎 昭順	三光寺	新発田仏教会	957-0055	新発田市諏訪町2丁目3-25	0254-22-4467	地域副会長
15	"	磯辺 浩榮	鳳林寺	新発田仏教会	957-0005	新発田市長畑160	0254-22-5208	地域副会長
16	"	青木 泰俊	顕法寺	新発田仏教会	957-0056	新発田市大栄町2-4-21	0254-22-3892	
17	"	老野生常昭	本覚寺	高田仏教会	943-0832	上越市本町7-4-17	025-523-3404	地域理事
18	"	春日 實	信光寺	直江津仏教会	942-0041	上越市安江67	025-543-4356	地域会長
19	"	古川 真丈	龍泉寺	直江津仏教会	942-0001	上越市中央2-1-11	025-543-2608	
20	"	栗田 孝之	蓮如院	三条仏教会	955-0845	三条市西本成寺1-1-6	0256-32-5203	地域会長
21	"	船岡 芳英	慈眼寺	小千谷仏教会	947-0027	小千谷市平成2-3-35	025-882-2495	地域会長
22	"	松崎 真雄	東光寺	中魚沼・十日町仏教会	949-8412	十日町市倉俣甲1451	025-763-2216	地域会長
23	"	桑原 龍弘	龍源寺	中魚沼・十日町仏教会	949-8311	中魚沼郡津南町中深見1118	025-765-3055	地域幹事
24	"	坂上 三省	月心寺	見附仏教会	954-0053	見附市本町3-3-1	0258-62-1549	地域会長
25	"	石曾根高道	東光寺	栃尾仏教会	940-0255	長岡市東中野俣繁窪512	0258-58-2140	地域会長
26	"	直峰 照映	法善寺	東頸地区仏教会	942-0415	上越市安塚区松崎416	025-592-2671	地域会長
27	"	久保 尚之	永明寺	加茂仏教会	959-1334	加茂市 大字狭口乙556	0256-52-1942	地域会長
28	監事	河合 正樹	願随寺	新潟市仏教会	951-8075	新潟市中央区元祝町4828	025-223-2884	地域顧問
29	監事	眞谷 誠祐	林徳寺	新潟市仏教会	950-0101	新潟市江南区江口3409	025-276-3456	地域事務局長
30	事務局長	山口 智史	瑞雲寺	新発田仏教会	957-0053	新発田市中央町1-1-8	0254-22-4584	
31	事務局員	関根 正隆	長徳寺	新発田仏教会	957-0056	新発田市大栄町2-7-22	0254-22-6226	
32	"	本田 義昌	法華寺	新発田仏教会	957-0053	新発田市中央町1-4-10	0254-22-2981	
33	"	宗像 義順	相圓寺副住職	新発田仏教会	957-0053	新発田市中央町2-2-5	0254-22-4463	
34	"	青木 泰洋	顕法寺副住職	新発田仏教会	957-0056	新発田市大栄町2-4-21	0254-22-3892	

つながるおもい、

つたえるところ。

よし

うん

どう



YOSHIUNDO

本社 新潟市南区戸頭1347-1 TEL 025(372)1138(代)

www.yoshiundo.co.jp

寺院用具 | お仏壇 | 墓石

新潟県で

No.1

・23店舗ネットワーク
 ・専門資格保有数260名